

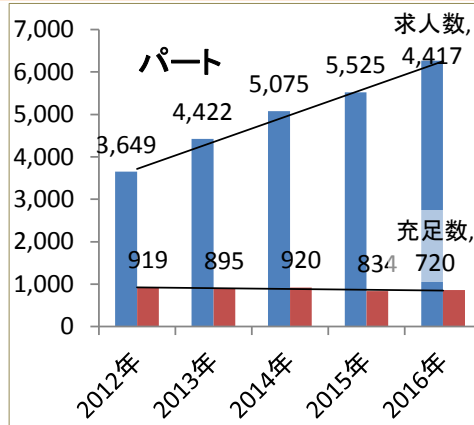
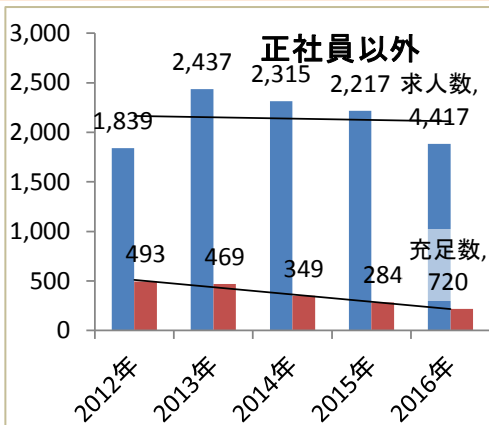
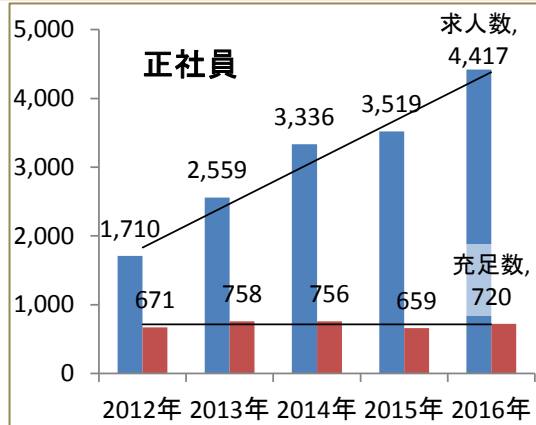
応募したくなる求人へ!

保育士

応募がある求人は37.9%で全職種平均の54.0%より少なめです。
採用率（採用者数/紹介数）は29.4%と高く採用されやすい職種と言えます。
（全職種平均9.9%）

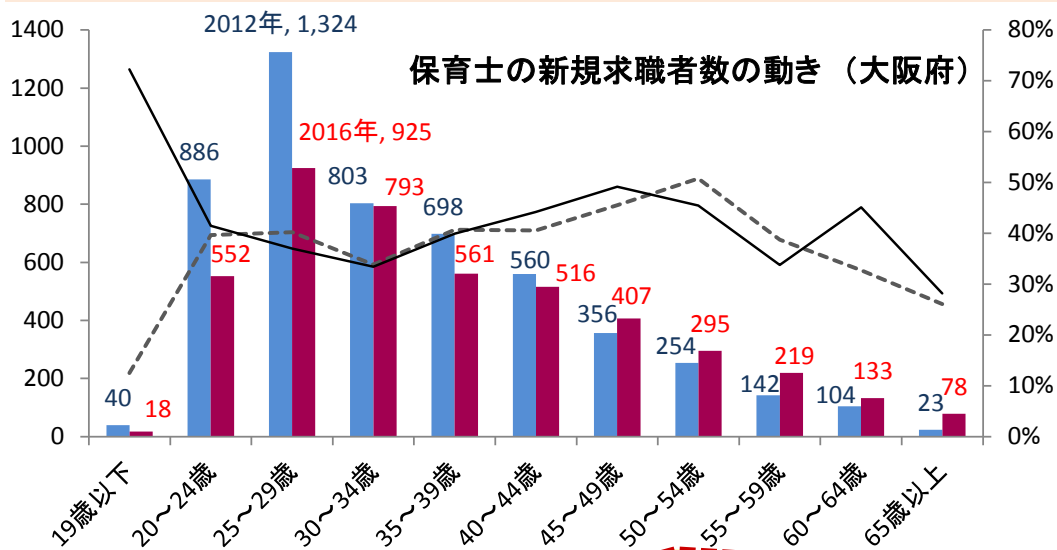
※紹介率は、募集全体に対し、紹介があった求人件数を意味します。
※充足率はそのうち採用があり充足した求人の割合を指します。

■ 充足率は正社員の方が良い傾向にあります。求人は増加傾向、求職者は減少しています。



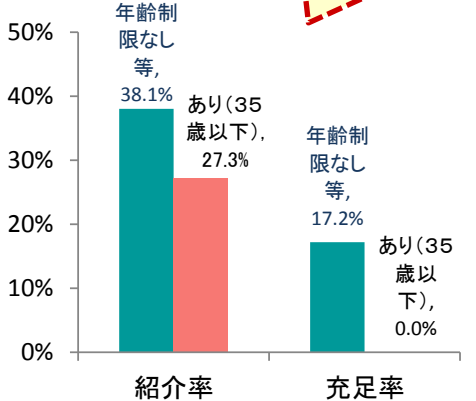
求人数は大きく伸びていますが、充足数は減少傾向です。正社員の充足数は横ばいですが、正社員以外(派遣を除く)、パートの充足数は減少しています。グラフは大阪府全体の数字です。

■ 採用者の年齢別状況



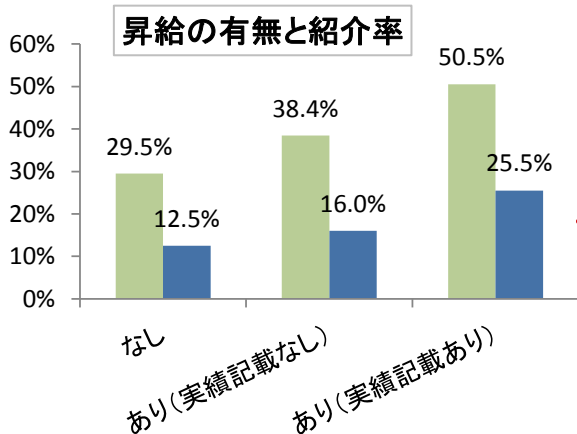
20歳代の新規求職者が年を追うごとに減少しています。年齢制限しないことをお勧めします。

35歳以下の年齢制限のある求人は、梅田所の場合ほとんどありませんが、その場合紹介率、充足率とも低くなります。



大阪府内のハローワーク求職申込をした保育士(資格を持たない者を含む)の年齢別の状況です。2012年(青)に比べ2016年(赤)は、20歳代が激減し45歳以上の採用が増加傾向にあります。線グラフは就職率(就職数/新規求職者数)ですが、19歳以下の年齢層を除き、年度による差はあまりありません。このグラフは大阪府全体の数字です。

■ 求人条件のうち影響が大きいもの



休日の曜日は、仕事を選ぶ上で重要視されており、明らかに差が出ています。

昇給の有無により、紹介率、充足率は明らかに差が出ます。昇給実績があるなら、明示されることをお勧めします。

